

Recherche 00082 ライダースジャケット仕様書

布帛用

パターンパーツ数 15

ファスナー付き切りポケット有り

～付属品～

伸び止めテープ

接着芯

オープンファスナー×1

ファスナー×2（ポケット用）

バックル

サイズ	80	90	100	110	120	130	140	150
着丈	30.3	32.3	34.3	37.3	40.3	43.3	46.3	49.3
肩巾	21.2	22.7	24.2	26.2	28.2	30.2	32.2	34.7
バスト	58.2	61.2	64.2	68.2	72.2	76.2	80.2	85.2
裾囲	55.7	58.7	61.7	65.7	69.7	73.7	77.7	82.7
袖丈	31	34	37	40	43	46	49	52
用尺(110巾)	149	155	164	178	192	205	220	241

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権は Recherche が所有しています。
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転
売はご遠慮ください。

■ 用語

CF(センターフロント).....前中心

CB(センターバック).....後中心

SL(ショルダーライン).....肩線

AH(アームホール).....袖ぐり

SNP(ショルダーネックポイント).....肩線の衿側

空ロック.....布端処理等に用いる、縫い合わせをしないロック

コバステッチ.....1~2 mmの端ミシン

■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。

■ 伸び止めテープ・接着芯貼りは省略しています。

■ わかりやすくする為、画像のサンプルは寸法や糸の色を変えてあります。全体のバランス等、実際のものとは異なりますのでご注意ください。

パターンには芯を貼る位置やステッチの巾等の指示が書いてありますので、本仕様書と共に確認しながら作業を進めてください。

ポケット付け詳細は Recherche 仕様書ページの部分縫い「ファスナー付き切りポケット」を参考にしてください。

作成時の注意 ~裁断前にご確認ください~

ベルトの巾

ベルトの巾は各サイズ記載のバックル内径より若干狭くしておりますが、生地の厚みによって調節する必要があります。

裁断前にハギレを出来上がりの厚みにたたむ等して、加減をしてください。

尚、バックルのサイズは目安ですので、お好みのサイズをお使いください。

ベルトループの縫い代

厚みのある生地を使用する場合はベルトループを長めにします。

身頃に縫い付ける方の縫い代も多くします。

縫い付け部分を折り曲げた状態でベルトが通るようにします。(ベルト巾+ゆとり分)

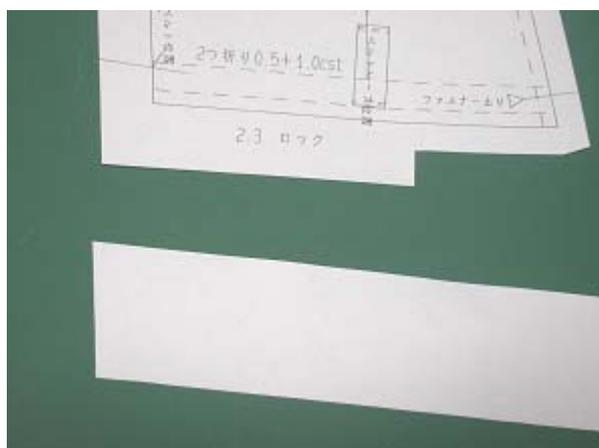
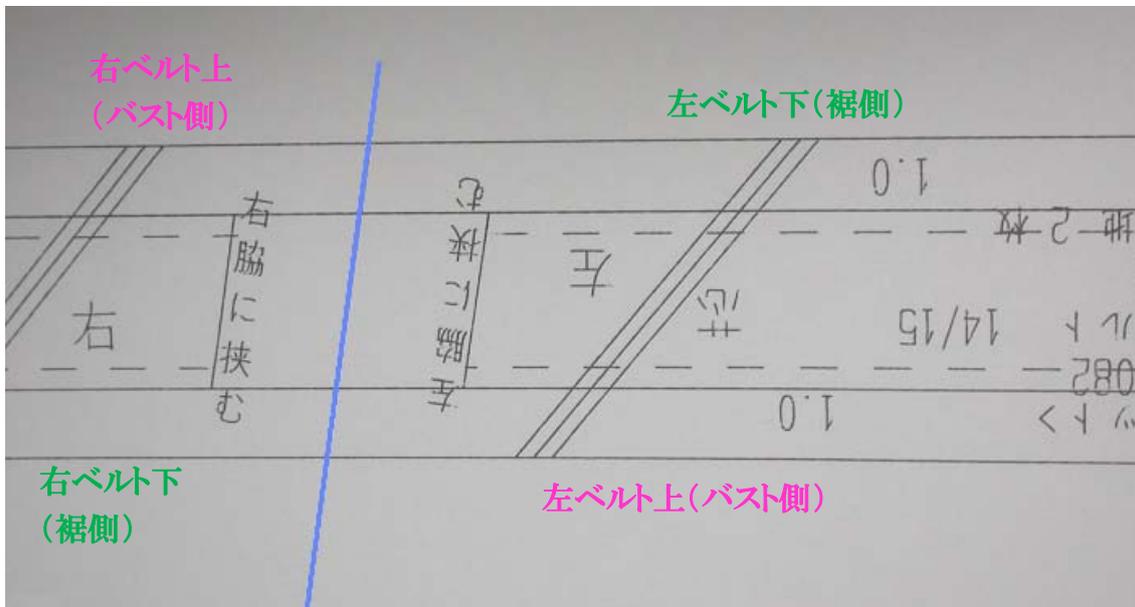
ベルトの上下

左右のベルトをつなげたまま芯貼り・裁断・縫製した後に切り離します。

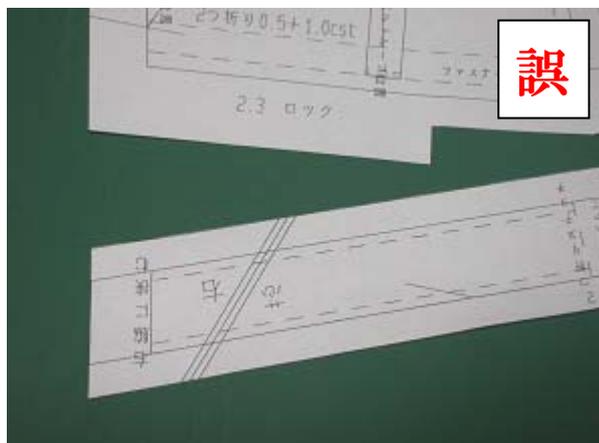
(※パターンもつながっています。効率・縫い目の安定を考慮して上記の手順で説明しておりますが、別々に作成してもかまいません。)

～縫製時の注意～

右ベルトはパターン上の裏面が出来上がり時に表側になりますので、縫い込む際には上下を間違えないように注意します。



ベルトは前下がりになります。



----- 作り方 -----

※以下の「裁断」「ノッチ」「芯貼り」は平行して作業します。

裁断

地の目線を確認し、生地の方に注意しながら裁断します。

接着芯を貼るパーツは少し大きめに粗裁ちします。(※接着芯を貼ると生地が縮む為、接着後に裁ち直します。)

ノッチ(合印)を入れます

※ ノッチ(合印)とは、縫い代に 0.3 cm 程度の切り込みを入れることです。

※ ノッチを深く入れすぎるとほつれやすくなりますので注意します。

※ 各所縫い合わせの時はこのノッチどうしを合わせます。

伸び止めテープ・接着芯を貼ります

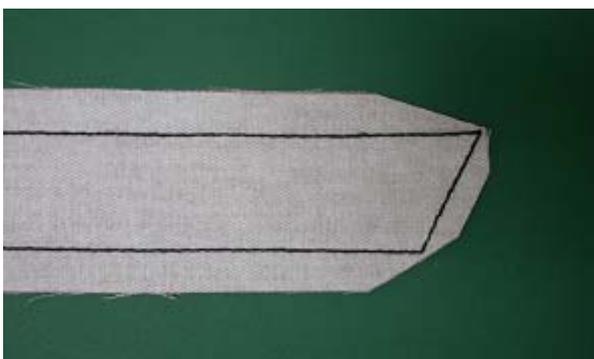
生地合った接着芯を貼ります。

ポケットの接着芯については[部分縫いのページ](#)を参考にしてください。

～ベルトパターン～

ベルト・ベルトループ・エポーレット

「ベルト」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫います。



縫い代の角を切り落とします。



表に反し、アイロンで整え、ステッチをかけます。

※エポーレットも同様に作成します。



左右のベルトを切り離します。



「ベルトループ」を出来上がり巾にアイロンで折り、ステッチをかけ、切り離します。



必要があれば、右ベルトのバックル側・ベルトループの両端にほつれ止め液を塗ります。

衿



「表衿」と「裏衿」を**中表**に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫います。

縫い代に切り込みを入れ、角を切り落とします。



～ポイント～

角まで縫わずに手前から向こう側まで 1 針で糸を渡すと、衿先が綺麗に出ます。

糸を渡さずに返し縫いをして縫い止めても良いです。その際、向こう側も返し縫いをしてから縫い進めます。

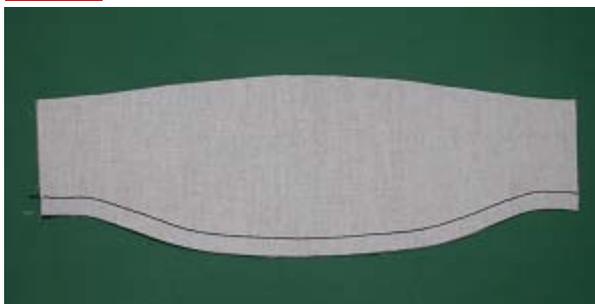


表に反し、アイロンで整え、ステッチをかけます。

衿ぐり側の縫い代を揃え、出来上がり線より少し内側に捨てミシンをします。

(※表衿が大きい為、若干ふくらみが出ます。)

後身頃



「裾ヨーク」を**中表**に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



裾ヨークのどちらか一枚を後身頃と縫い合わせます。



縫い代に切り込みを入れます。
(※カーブの大きいところは多めに)



後身頃の縫い代を裾ヨーク側にアイロンで倒します。

裾線も表に反し、アイロンで整えます。



後身頃と縫い合わせていない裾ヨークの上部に3mm切り落としながら5mm巾の空ロックをかけます。



裾ヨークを開き、脇に3mm切り落としながら5mm巾の空ロックをかけます。

(※裾線の縫い代はどちらに倒してもかまいません。)

SLの縫い代に3mm切り落としながら5mm巾の空ロックをかけます。

見返し



「前見返し」と「後見返し」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



縫い代をアイロンで割り、外周に 3 mm 切り落としながら 5 mm 巾の空ロックをかけます。

前身頃

ポケット

左右前身頃にポケットを作ります。

詳細は Recherche 仕様書ページの部分縫い「ファスナー付き切りポケット」を参考にしてください。

以下の画像ではポケットを作っていません。
(※ポケット位置にステッチをしています。)

ファスナー



左前身頃の上にファスナーを中表に重ね、まち針で留めます。

出来上がり時にファスナー部分の見せ巾が1cm(片側5mmずつ)になるようにします。



同様に、右前身頃の上にファスナーを中表に重ね、まち針で留めます。

※まず、一番下の下げ止まりの合印を合わせます。
※左右身頃のカーブの違いや、生地・ファスナーの素材の性質によって若干ファスナー付け寸法が変わってしまう事がありますが、アイテムのデザイン上、上げ止まりでの多少のズレは問題ありません。



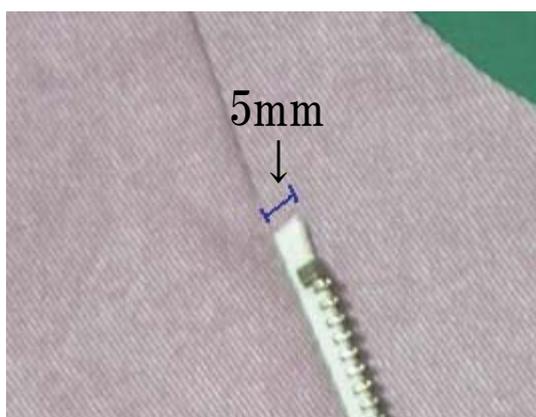
出来上がり線より縫い代側に粗ミシンをかけ仮留めします。

反対の身頃も同様に仮留めします。

「右身頃」に「右中央」を中表に重ね、出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



縫い代をすべて脇側に倒し、アイロンをかけます。



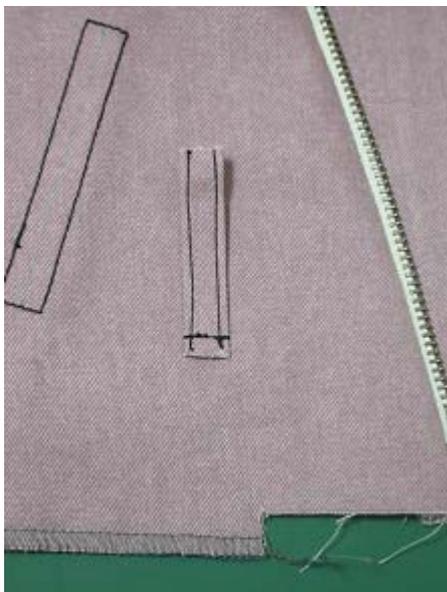
SL・脇・裾に 3 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックをかけます。

同様に、左身頃の SL・脇・裾にも 3 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックをかけます。



ベルトループ

前身頃にベルトループの**上側だけ**を縫い付けます。



衿ぐり



「前身頃」と「後身頃」を**中表**に重ね、SLの出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



縫い代をアイロンで割ります。



身頃の上に表衿を上にして「衿」を重ねます。



その上に「見返し」を中表に重ね、見返しの「裾～衿ぐり～裾」の出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。



縫い代のカーブしているところに切り込みを入れます。

衿付け止まりの縫い代にも切り込みを入れます。

角の縫い代を切り落とします。



表に反し、アイロンをかけます。



右身頃裾のファスナー横～左のSLにステッチをかけ、見返しを身頃に縫い留めます。

※ポケットの袋布の一部も縫い留められます。

左のSLまでのステッチの時はエポーレットで隠れる位置でステッチを止めます。

お好みで左身頃の裾までステッチをしてもかまいません。

脇



「前身頃」と「後身頃」を**中表**に重ね、ベルトを挟み込み、脇の出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。

※ベルトの縫い代が3mmはみ出します。



縫い代をアイロンで割ります。

※ベルトの縫い代は後身頃側に倒します。

裾ヨークの縫い代の一部(下画像参照)に切り込みを入れ、前身頃側に倒します。



ポケットの袋布は縫い代の下に入れ込みます。



衿ぐり～前～前裾～後裾～にステッチをかけます。
※衿に隠れる位置から縫い始めます。





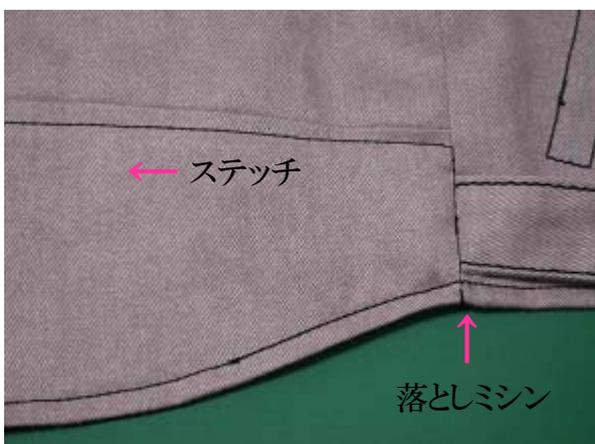
ベルトループを跳ね上げ、左画像の位置にステッチを入れます。

※見返しの切れ目～ベルト手前



ベルトループの下側を縫い留めます。

※ベルトの厚み分を膨らませます。



← ステッチ

↑
落としミシン

脇に落としミシン、続けて裾ヨーク上部にステッチをかけます。



※裏側

袖



袖底と袖口に 3 mm切り落としながら 5 mm巾の空ロックをかけます。



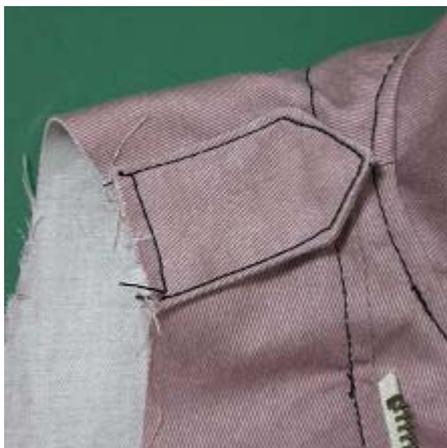
中表に折り、袖底の出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせます。

縫い代をアイロンで割ります。

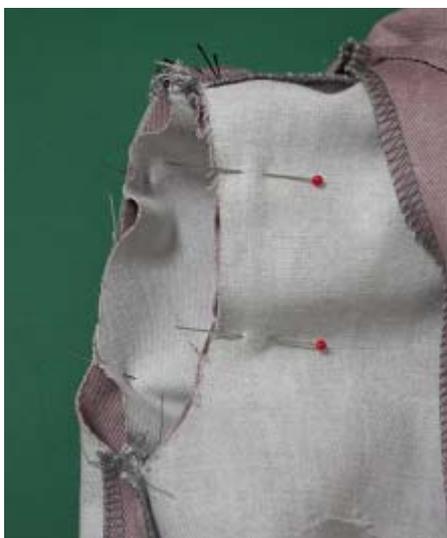


表に反し、袖口を出来上がり線で折り、ステッチをかけます。

エポーレットと身頃に留め具を付けます。(※本仕様書では省略しています。)



エポーレットを袖山に仮留めします。
※ノッチを合わせ、縫い代側で留めます。



身頃と袖を**中表**に重ね、まち針で留めます。



出来上がり線を直線ミシンで縫い合わせ、**メスをロック**して**5mm巾の空ロック**をかけます。

エポーレットの縫い代を倒す方向によって印象が変わります。



身頃側に倒す場合は、左画像の赤ラインの位置にステッチを入れ、縫い代をおさえます。

※袖側に倒す場合はステッチの必要はありません。

留め具

お好みで衿先等に留め具を付けます。

完成